

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation 本社・大野木事業所

〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2 <http://www.safetyweb.co.jp>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー EXECUTIVE SUMMARY	2
IEC: 日本: 総務省: CISPR リヨン会議審議結果について 他	3
IEC: 規格解説: CISPR 22 ED. 6 (2008): 解釈シート 1 (I - SH 01)	9
IEC: 新規格リスト	11
国際テーマ: EU: 2006/42/EC 機械指令解説: 2009/12/29 日から適用開始	13
国際テーマ: 製品認証制度解説: アルゼンチン	17
USA: FCC: 機器認証のための申請提出ステップ: 機器認証(EA)ページから	18
USA: FCC: DTV コンバータボックス技術試験報告書: NTIA クーポンプログラム	19
USA: IEEE: 新規格リスト	21
カナダ: 無線マイクロフォン等 無線低出力デバイス法枠組み: ファクトシート	22
EU: GSM 周波数で無線ブロードバンドが可能に	25
EU: ERC 推奨 70-03 のアネックス 1 非-特定短距離デバイス SRD へ修正草案	27
EU: 欧州 EUP 指令: 無指向性家庭用ランプの紫外線放射に関する委員会規制発行	28
EU: CENELEC: 新規格リスト	31
EU: ETSI: 新規格リスト	32
オーストラリア、ニュージーランド: 電気/電子デバイス等への統合ラベリング要求	33
中国: CQC 認証: 蛍光灯等 一部照明器具の省エネ認証規則変更	35
中国: CQC 認証: コンピュータ、テレビ、プロジェクタ: 新版省エネ認証規格実施	37
韓国: 電波障害防止試験方法 (エミッション試験)の改正 (案): 意見募集	38
韓国: 電磁波保護試験方法 (耐性試験)の改正 (案): 意見募集	39
日本: 総務省: IEC: CISPR リヨン会議審議結果について 他	40
日本: 総務省: 特性試験の試験方法を定める件 - 2.4 GHz システム等: 意見募集	40
日本: 経済産業省: 「電気設備の技術基準の解釈」の一部改正: 意見の募集	41
チュートリアル: スペクトラム拡散の基礎 (2)	23
社長の独り言	42
コスモス・コーポレーションからのご案内	43



IEC: 日本: 総務省: CISPR リヨン会議審議結果について他

- CISPR 会議 (総会) は毎年 1 回開催され、**本年は平成 21 年 9 月 20 日から 10 月 1 日までの 9 日間、フランスのリヨンにおいて開催された。**その結果の概要が、情報通信審議会 情報通信技術分科会 CISPR 委員会 (第 31 回) において報告された。
- 次のような諸点が検討された。
 - ・ SMD (表面実装デバイス) 型の電磁両立性 (EMC) フィルタの特性測定法
 - ・ アンテナ校正法
 - ・ GCPC (系統連系パワーコンディショナー) からの妨害波の測定法及び許容値の規格化
 - ・ 電子レンジ妨害波測定法への APD(振幅確率分布) 法導入
 - ・ CISPR 12 の改訂に係る課題
 - ・ 広帯域電力線搬送通信設備 (PLT) の許容値

IEC: 規格解説: CISPR 22 Ed. 6 (2008): 解釈シート 1 (I-SH 01)

- 1 GHz - 6 GHz 間の周波数における放射エミッションに対し、適切な平均値検波器は、**直線平均値検波器**であることを明確化
- 複数個の機器を収容するキャビネットへの伝導エミッションの測定方法を明確化

国際テーマ: EU: 2006/42/EC 機械指令解説: 2009/12/29 日から適用開始

- 2009 年 12 月 29 日より、現行の機械指令 98/37/EC が新機械指令 2006/42/EC に改訂される。この改訂では、95/16/EC リフト指令の見直しによる走行速度が 0.15m/秒を超えないリフトへの機械指令の適用、電圧指令の対象となる一部の電気機器の適用除外、固定式ガードの固定手段、適合宣言における EC 域内での TCF(技術ファイル)管理・編集者の設置、等についての規定が、新たに付け加えられた。

EU: 欧州 EuP 指令: 無指向性家庭用ランプの紫外線放射に関する委員会規制発行

- **無指向性家庭用ランプのエコデザイン要求事項に関する欧州議会及び理事会の指令 2005/32/EC を実施する 2009 年 3 月 18 日付け委員会規制(EC) No 244/2009 が、以前 24.3.2009 付で発行されている。今回、上記規制 No 244/2009 に定められている要求の内、紫外線放射についての要求を改訂する本規制 (EC) No 859/2009 が、19.9.2009 発行された。**
- 前回の規制発行後生じた証拠により、UVC タイプの紫外線放射に関する規制 No 244/2009 の表 5 に定めた限度値は、タンゲステン・ハロゲンランプは満足させることが出来ないと判明。当該規制は UVC 放射を根拠に 2009 年 9 月 1 日からこれらのランプを禁止しようとする意図にあるものでないことを鑑み、本規制 (EC) No 859/2009 により、紫外線放射についての要求を改訂する。

オーストラリア、ニュージーランド: 電気/電子デバイス等への統合ラベリング要求

- 以前は別々であった工業分野が統合され、単一の機器が、電気通信、無線通信、電磁エネルギー (EME)、電磁両立性 (EMC) 及び電気安全に関連してオーバーラップする技術規制要求の支配下に置かれる状況が、増大している。
- これら変化に対応し、**現行の適合性マークを単一の適合性マークに統合することが、提案される。**規制適合性マーク (RCM) が、統合に対するもっとも適切なマークであると考えられる。

コスモス・コーポレイションからのご案内

A2LA試験所認定を取得!!



当社の松阪 EMC センター（三重県松阪市桂瀬町 718-1）は 8 月 24 日付けで、“ISO/IEC 17025, Electrical Testing” の試験所として A2LA に認定を受けました（認定番号=2900.01）。

これにより主要なほとんどの EMC 規格において、[A2LA](#) 及び [ILAC](#) の認定試験レポートを発行できます。

【認定書及び認定試験規格はこちらになります】

[http://safetyweb.co.jp/document/certificate/A2LA/A2LA_AccreditedScope\(Cosmos\)2900-01.pdf](http://safetyweb.co.jp/document/certificate/A2LA/A2LA_AccreditedScope(Cosmos)2900-01.pdf)

ILAC とは？

信頼性の高い試験サービスを提供するためには、その業務の品質管理体制の確認が必要ですが、通常 ISO/IEC17025 に基づく試験所認定によってこれが行われます。

『[ILAC](#)』（[International Laboratory Accreditation Cooperation](#)）は、世界で最も権威ある試験所認定の国際組織で、A2LA は ILAC に加盟している認定機関の一つです。

ILAC の認定を受けた試験所は、ISO/IEC17025 に基づく品質管理体制のもと、世界的に保証された正確で信頼できる試験サービスを提供しています。

【お問合せ先】

株式会社コスモス・コーポレイション 営業本部 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718-1

TEL : 0598-30-5225

FAX : 0598-30-5571

URL : <http://www.safetyweb.co.jp>

E-mail : sales@cosmos-corp.com

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC 及び安全(EMC and Safety) 分野において、世界の主要機関/地域により規定/施行され、かつ電気電子製品デバイスに適合が求められている、規格/法規制関連情報を、お届けいたします。重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等 国際機関、並びに、FCC UL を含む 米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

(株)コスモス・コーポレイション 出版情報管理課まで publication@cosmos-corp.com

Tel: 0598-30-6211

Fax: 0598-30-6631

- 発行: 年間 11 回 発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

English version of the Newsletter is available. Ask for a sample from sales@cosmos-corp.com

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社 コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関 米州	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2009-12-1 (No. 05)

発行所: 株式会社 コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄

NARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2009 株式会社 コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation